

## ◇『ランサム攻撃 ～ついに日本もターゲットに～』 理事 木田洋一

「昨年10月31日未明、病院内に設置されていた複数台のプリンタが、一斉に犯行声明を印字し始めた」とまるで映画のようなシーンの描写で始まる徳島県つるぎ町の町立病院のランサムウェア（身代金ウイルス）のサイバー攻撃件に関する調査報告書では、約2カ月間にわたり病院の機能が停止した苦闘が書かれています。

人口わずか7000人余りの町の小さな町立病院でおこったことです。

このような小さな企業は狙われないだろう、そんなリスクまで考える暇はない、と断言されたいのです。

だって、二カ月も機能停止になって会社は立ち行きますか？

これまで、危機管理広報について、みなさんの関心があまりないので書いてきませんでした。この事例と、日経新聞の6月24日朝刊の「日本襲うランサムウェア」という記事を見て、この問題について書いてみることにしました。

日経の記事では、英国ではランサムウェア攻撃の被害がこの1年で倍増していて、「いかなる企業も組織もその対象になり得るわけで、どんな脆弱性も悪用される危険があり、攻撃者らは被害者がいかにひどい目に遭おうとも全く気にかけない」と書いています。さらに「世界で最も強大な犯罪集団は、これまでは主にロシアやベラルーシ、その他の東欧諸国を拠点に海外（欧米を中心）への攻撃を展開してきたとみられている。その彼らが、ここへきて次の『最もおいしいような標的』として日本に狙いを定めている」とあるのです。

その理由が、これまで餌食にしてきた欧米で対策が充実してきてうま味がなくなり、対策も意識も緩い日本がターゲットになってきたことの証だと言うのです。

これまで日本の最大の防御壁になっていたのが日本語だったらしいのですが、それが今、プロの翻訳者を使い攻め込んできているというのです。

うちのシステムはネットから切り離されているから大丈夫、と言うのもダメです。

この病院でもシステムの外との接続ない中、「様々な侵入方法を検討していくと、電子カルテを始めとした医療機器のメンテナンス等を行う際に接続するVPNのみが侵入経路と考えられる」ということでした。

つまり、ネットと繋がっていなくてもちょっとした隙間があればやられるということなのです。

だから当然、システムの危機対策が必要ですが、この病院は被害にあった後の対応、特に広報対応がお手本にしたいほど真摯だったから批判されなかつただけで、こうした時の広報を誤ると炎上してしまいます。

## ◇『昭和レトロがキーワード』 代表理事 竹原信夫

◎古いものが良い時代

その時代、時代によって価値が大きく変わります。なんでも新しいものが良いとされた時代から、今は若い世代を中心に古いものが良いという価値観が増えています。

新しいものより、レトロな古いものがオシャレに見える時代です。また、環境問題からもプラスチック容器からレトロなビン容器も注目されています。

#### ◎リターナブルビンに力

先日、取材しましたミネラルウォーターやウーロン茶などのドリンクを製造している会社でも、その流れを実感しました。「これからうちはリターナブルビンに力を入れようと思っています」と、おっしゃいます。

リターナブルビンとは、使ったビンを回収して洗浄し、再使用するビンのことです。確かに、ボクがまだ小さかった頃、お醤油や油は空ビンを持って買いに行きました。お酒もそうです。量り売りの時代でした。

#### ◎ほとんどは一方通行

オレンジジュースだって、ビン入りでした。ビールビンは今も酒屋さんがビンを回収されてメーカーに戻されます。でも、ほとんどのドリンクはペットや缶になり、一方通行になってしまいました。

「大手メーカーさんが最近ミネラルウォーターやウーロン茶のビン入りをなくされました。理由はよくわかりませんがうちにとってはチャンスだと思います」と。確かにミネラルウォーターやウーロン茶のビン入りはあまり見かけなくなりました。

#### ◎ビンの復活は大いに期待

ペットボトルは海洋汚染などの問題が指摘されます。「SDGsの観点からもペットボトルからビンへの流れが出始めているのではないのでしょうか？消費者もビンが古いというイメージはあまりありません」と、おっしゃいます。確かに、高級料亭でウーロン茶を頼むと、ほとんどビン入りです。

ビンが古いというより、高級感のイメージの方が強いようです。ペットボトルに比べて環境にも優しいわけですから、ビンの復活は大いに期待できそうです。

#### ◎富裕層外人はペット嫌う

さらに、社長さんは「これから高級ホテルにもビン入りのミネラルウォーター、ウーロン茶の売り込みに力を入れます」と話されます。海外から来られた富裕層の外国人は、部屋にペットボトルを置かれるのを嫌われますと指摘されます。

やっぱりビンを求められるのです。富裕層の外国人はエシカル消費者が多く、環境に良くないペットボトルではなく高級感のあるビンボトルが良いのです。

#### ◎昭和時代の復活！

こちらの会社では、ビン洗浄工場の新設も検討しておられます。SDGsの流れは、昭和時代の復活でもあります。昭和レトロは、ビジネスのキーワードになりそうです